

内閣府「グローバル・スタートアップ・キャンパス構想」先行的活動において、事業化支援および人材育成（フェローシップ）の2分野を対象とした運営支援法人として正式契約を締結

— 人材育成プログラム「CONNECT」公募開始 —

2026年2月17日

東京大学協創プラットフォーム開発株式会社
株式会社博報堂

東京大学協創プラットフォーム開発株式会社（代表取締役社長：植田浩輔、以下「東大IPC」）および株式会社博報堂（代表取締役社長：名倉健司、以下「博報堂」）は、内閣府が推進する「グローバル・スタートアップ・キャンパス構想」の先行的活動において、事業化支援および人材育成（フェローシップ）の2分野を対象とした運営支援法人として、東大IPCを代表提案者、博報堂を共同提案者とする体制で採択され、正式に契約を締結し、本プロジェクトを新たに **Go Abroad To Scale (GATS)** とし、開始したことをお知らせします。

またこの度、人材育成分野における取組として、人材育成プログラム「CONNECT」の公募を開始します。



グローバル・スタートアップ・キャンパス構想について

グローバル・スタートアップ・キャンパス構想は、世界最高水準のイノベーション・エコシステムのハブを構築し、日本発のディープテック分野のスタートアップ創出を目指す政府の取り組みです。現在、世界の優れた人材と投資を呼び込むため、事業化につながる研究開発の支援や研究者による事業化の支援といった取組を「先行的活動」として進めています。

この度、「事業化支援」および「人材育成（フェローシップ）」の2分野について、東大IPCを代表提案者、博報堂を共同提案者とする連携体制が運営支援法人として採択され、当該分野における先行的活動の企画・運営を担います。

育成・支援を通じて、グローバルなスタートアップ・エコシステム形成を目指す、**Go Abroad To Scale (GATS)**

Go Abroad To Scale (GATS) は、グローバル・スタートアップ・キャンパス構想のもと、日本発ディープテックスタートアップの創出と成長を人材・事業の両面から支える統合的な育成・支援枠組みです。

本プログラムでは、国内外の優秀で野心的な研究者、スタートアップ、先見的なベンチャーキャピタル（VC）、アクセラレーター、企業との連携を通じて、我が国全体のイノベーション・エコシステムの変革を促進し、世界最高水準のイノベーション・エコシステムのハブを構築することをミッションとしています。

このミッションのもと、**GATS** は世界トップクラスの VC や名門大学をはじめとする海外の主要プレイヤーと連携し、研究段階から起業、事業化、社会実装に至るまでをシームレスかつ包括的に支援します。

GATS は、研究・起業・事業化の各フェーズを横断しながら、複数の育成・支援プログラムを一体的に展開する枠組みとして、人材、知見、ネットワーク、資本が循環するグローバル・エコシステムを日本に根付かせ、日本発ディープテックスタートアップの中長期的な成長と国際競争力の強化を支えていきます。

人材育成プログラム「CONNECT」について

CONNECT は、**Go Abroad To Scale (GATS)** における人材育成（フェローシップ）分野の中核的プログラムとして、日本の人材を対象に、海外のスタートアップ・エコシステムの中核を担うベンチャーキャピタル（VC）等において、実践的な経験機会を提供する人材育成プログラムです。

また、人材育成にとどまらず、その育成を通じて、日本のディープテックスタートアップが

継続的にグローバル市場で成長するためのエコシステム形成を加速することを目的とした、**GATS** の戦略的基盤プログラムとして位置づけられています。

日本には、大学・研究機関を中心に世界水準のディープテック技術シーズが数多く存在する一方で、それらをグローバル市場で持続的に成長するスタートアップへと導くための、事業成長や組織構築、グローバル展開に関する実践知が十分に循環していないという課題があります。

CONNECT では、こうした課題認識のもと、スタートアップ支援のハブとして機能する海外 VC 等にフェローを派遣・従事させることで、投資判断、事業成長支援、ディープテックの事業化に関する実務経験やネットワークを獲得し、日本のスタートアップ・エコシステムへと還流させることを目指します。

本プログラムを通じて、

- 日本発ディープテックスタートアップのグローバル展開を見据えたネットワーク・連携基盤の構築
- 日米をはじめとするスタートアップ・エコシステム間における人材・知見・資本の循環を担う人材の育成
- ディープテックの事業化や事業成長に関する知見の蓄積および国内エコシステムへの共有

を実現し、**GATS** が目指す、日本のディープテックスタートアップが継続的にグローバル市場で成長するためのエコシステム形成を、人材面から持続的に支えていきます。

CONNECT の詳細、公募概要等の詳細につきましては、**CONNECT** 公募要領を参照ください。

<https://gats-web.jp/program3/connect>

運営体制について

本先行的活動における運営支援法人は、代表提案者である東大 **IPC** および、共同提案者である博報堂が連携して構成する **GATS** 運営事務局が担います。

東大 **IPC** は、本構想の趣旨および制度設計を踏まえ、事業全体の企画統括を行うとともに、大学発スタートアップ支援およびアカデミア発イノベーションの社会実装に関する知見を生かし、主に事業化支援および人材育成プログラムの企画・運営を担当します。

博報堂は、事業開発支援やコミュニケーション設計に関する知見を生かし、国内外の多様なステークホルダーとの連携促進、発信基盤の構築、プログラム価値の社会実装支援等を担います。

本プロジェクトを通じて得られる知見やネットワークは、先行的活動にとどまらず、グローバル・スタートアップ・キャンパス構想の本格展開に向けた重要な基盤となることが期待されています。

東大IPCおよび博報堂は、本構想の趣旨に基づき、多様なステークホルダーとの連携を深化させながら、日本のスタートアップ・エコシステムの国際競争力強化に貢献してまいります。

東京大学協創プラットフォーム開発株式会社 インキュベーションパートナー
グローバル・スタートアップ・キャンパス構想 **GATS** プログラム エグゼクティブ・ディレクター
高岡淳二 コメント

先端科学に根差したディープテックは、エネルギー、医療、食、防災など地球規模の課題に対し、持続的な解決策を生み出し得る重要な源泉です。一方で社会実装には、研究開発の蓄積に加え、事業化の実践知や資本、ネットワークが国境を越えて結びつく環境づくりが欠かせません。近年、研究成果を社会に届けるための国際協働への期待が高まる中、GATSは国内外の多様な担い手をつなぎ、スタートアップの創出から成長までを見据えて伴走します。あわせて、グローバルに連携し支援を担える人材の育成を通じ、知見と機会が循環する開かれたエコシステムの形成に貢献してまいります。

株式会社博報堂 執行役員 ミライデザイン事業ユニット長
グローバル・スタートアップ・キャンパス構想 **GATS** プログラム マネージング・ディレクター
吉澤到 コメント

地球規模の社会課題を解決し、新たな産業の起点となるディープテックの重要性はますます大きくなっています。日本の優れた技術シーズや人材のもつ潜在力を、日本の産官学、そして海外の支援機関や投資家が連携してグローバルに解き放つ。世界に伍するスタートアップを創出するために、GATSは始動します。合言葉は「*Go Abroad To Scale!*」。世界で戦う挑戦者たちを、私たちもエコシステムの一層の進化と成長を通じて支えてまいります。

<東京大学協創プラットフォーム開発株式会社（東大 IPC）>

設立 2016年1月

株主 国立大学法人東京大学（100%）

所在地 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学南研究棟アントレプレナーラボ 261

代表者 代表取締役社長 植田 浩輔

URL <https://www.utokyo-ipc.co.jp/>

<株式会社博報堂>

会社創業 1895年10月6日

所在地 東京都港区赤坂 5丁目 3番 1号 赤坂 Biz タワー

従業員数 4,654名（2025年9月1日時点）

代表者 代表取締役社長 名倉 健司

URL <https://www.hakuhodo.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

GATS 運営事務局

press@gats-web.jp

担当：河合・土屋